

2011年3月期 決算説明資料

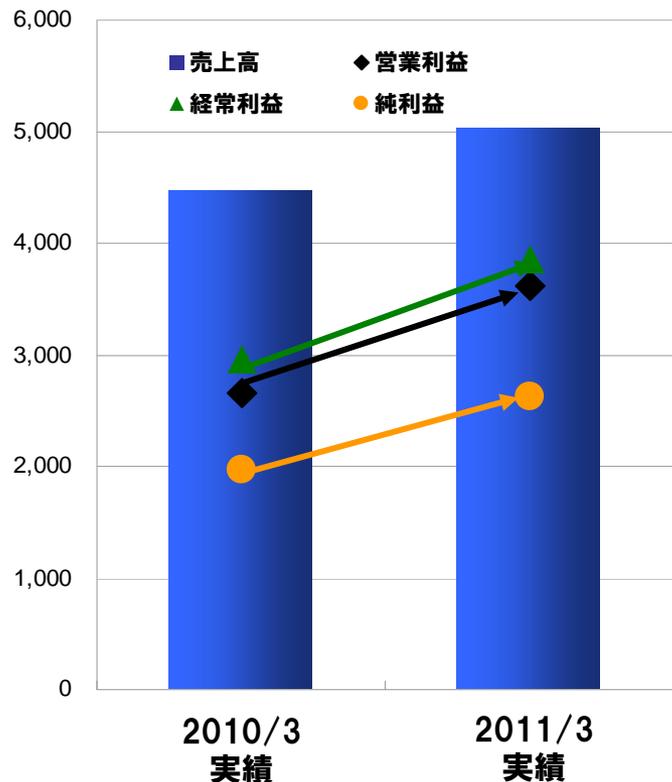
ブラザー工業株式会社

2011年5月9日

この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関わるさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。

(単位:億円)

売上高



利益

USD	93.04	85.82
EUR	130.62	113.56

()は為替影響を除いた増減率 単位:億円

	2011年3月期 実績	対前年実績増減		
		前年実績	増減額	増減率
売上高	5,028	4,463	+566	+12.7% (+20.3%)
営業利益	361	266	+95	+35.5%
経常利益	386	297	+89	+30.2%
純利益	262	196	+66	+33.7%

主なポイント

- 売上高は、市場が急回復した産業機器・工業用マシンを中心に、対前年で大幅な増収
- 営業利益は、円高や原材料価格上昇などの影響があったものの、マシナリー事業の増収効果や、売上構成の改善などにより、大幅な増益を達成

生産面の影響

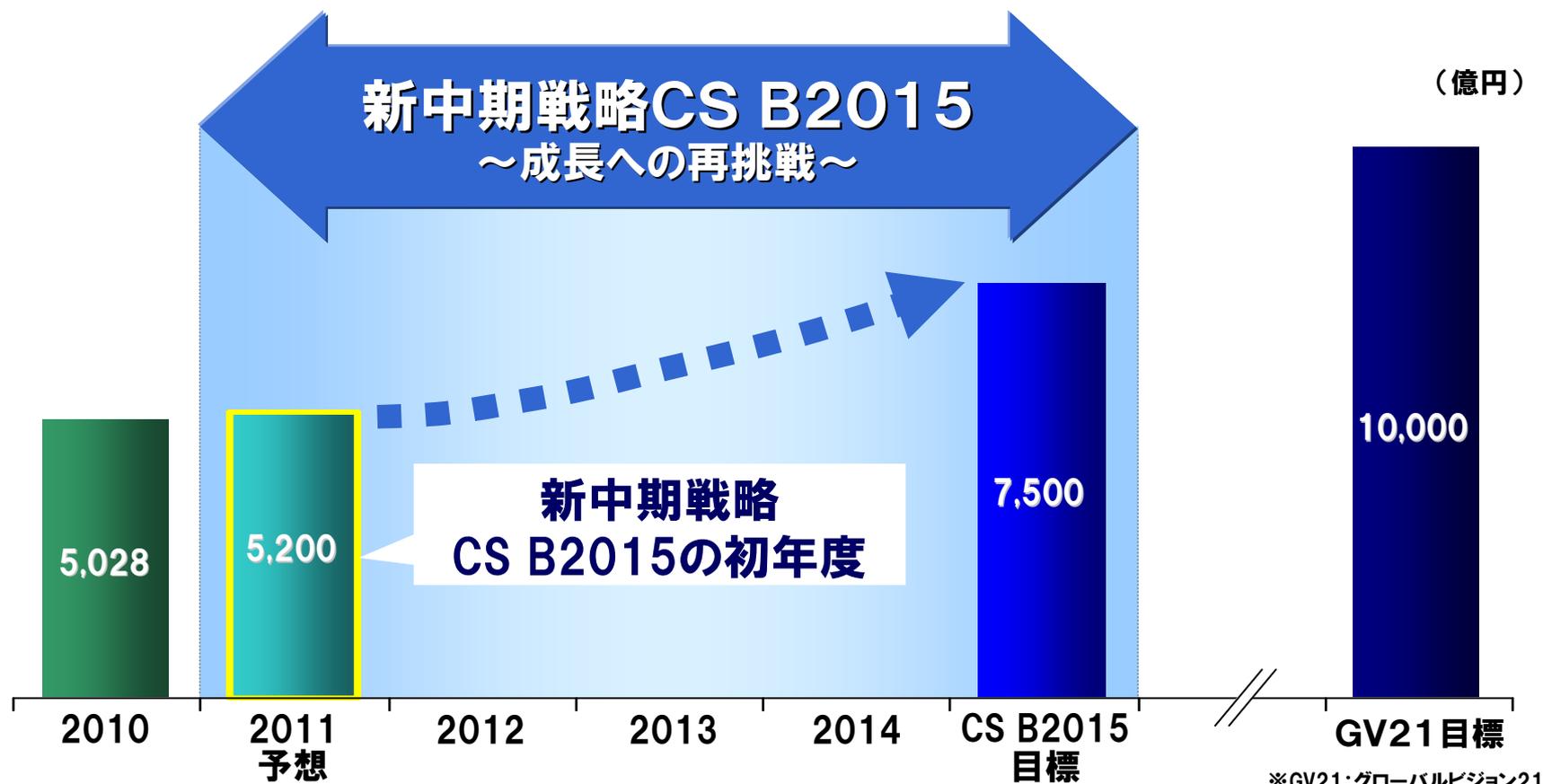
- 震災による、生産拠点への被害はなし
- 部品の調達難により、一部製品で生産に影響
- 代替部品の検討など、最大限の努力を継続的に実施
- 復興状況により、部品の調達難が想定以上に長引く可能性を懸念

販売面の影響

- 第1四半期への販売影響は、在庫対応等により、軽微となる見通し
- 第2四半期以降は、現時点で把握している生産影響を、業績予想に織り込み済
- 生産への影響が想定以上に長引く可能性もあり、不透明な状況
- 通信カラオケ事業は、震災影響による自粛ムードや、節電対応による店舗の営業時間短縮などの影響で、売上及び利益が減少する見込み

2011年5月9日現在

新中期戦略「CS B2015」の初年度として
震災影響があるものの、
“成長への再挑戦”へ積極的にチャレンジ

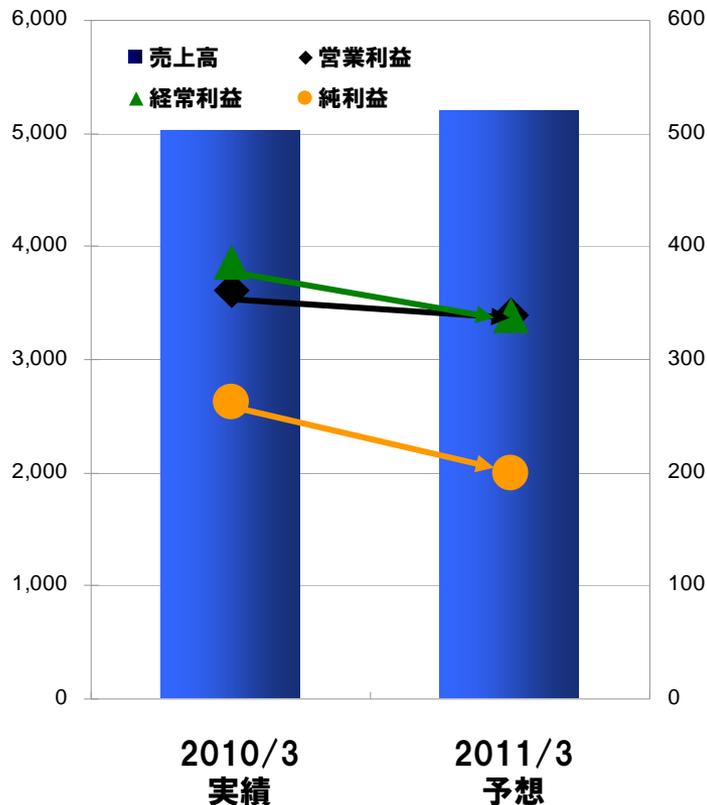


単位: 億円

(単位: 億円)

売上高

利益



USD	85.82	85.00
EUR	113.56	115.00

	2012年3月期 通期予想	対前年増減		
		2010/3実績	増減	増減率
売上高	5,200	5,028	+172	+3.4%
営業利益	340	361	△21	△5.8%
経常利益	340	386	△46	△11.9%
純利益	200	262	△62	△23.8%

主なポイント

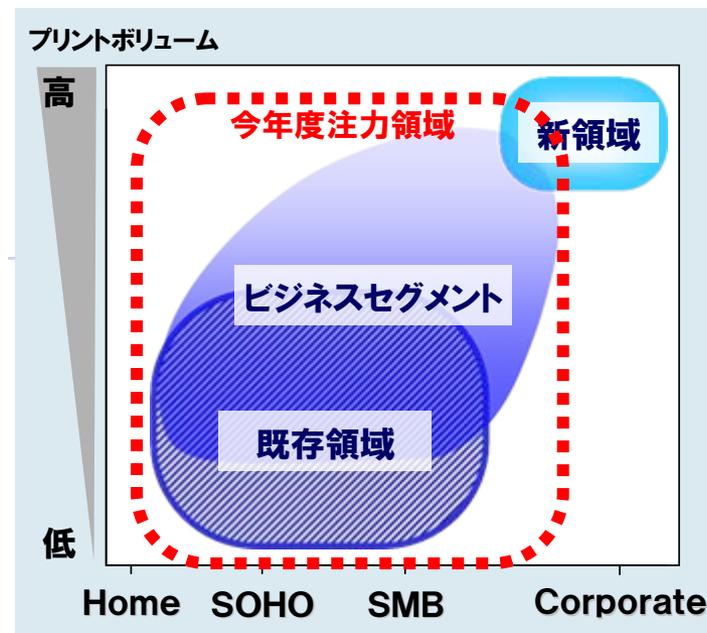
- 売上高については、震災影響があるものの、プリンティングや産業機器、工業用マシン、家庭用マシンなどで需要は堅調で、増収となる見込み
- 営業利益については、震災影響により、減益の見通し
- 震災による影響として、売上高で約150億円、営業利益で約50億円のマイナスを見込む

目指す姿

各カテゴリーにおいてグローバルにトップクラスのポジションを築く

重点課題

- SOHO・SMB市場におけるポジションを維持・拡大しつつ、ビジネスセグメントに注力
- 新興国におけるモノクロレーザーの販売拡大
- 販売力の強化と地域に合わせた商品開発・提供



*SOHO: Small Office, Home Office、SMB: Small and Medium Business

目指す姿

安定成長を図り、収益性を維持する

重点課題

- 中高級機種の販売拡大
- 職業用刺しゅうミシンの販売拡大
- 新興国市場の開拓強化
- 成長と収益性を支える
生産体制の構築
(ベトナム・ホーチミン市近郊に
新工場を設立)



中高級機種



職業用刺しゅうミシン



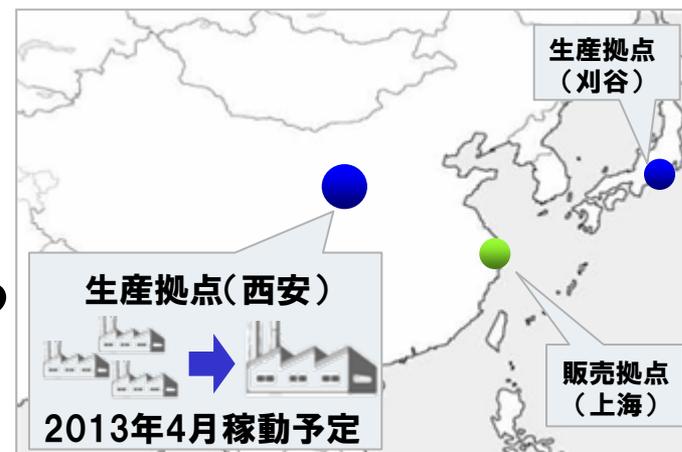
ベトナム新工場のイメージ (2012年4月稼動予定)

目指す姿

拡大する市場に対応し、成長と収益を両立する

重点課題

- 中国・西安での工業用マシン・産業機器の生産拠点の集約に着手し、生産機能の強化と事業の効率化を図る



工業用マシン事業

- 中国・アジアでの販売・サービス体制を強化

産業機器事業

- 市場拡大に対応した販売力強化と生産能力の増強

目指す姿

通信カラオケ事業を中核とし、統合効果の早期最大化を実現する

重点課題

■ 統合効果の早期最大化

JOYSOUND × UGA

震災影響

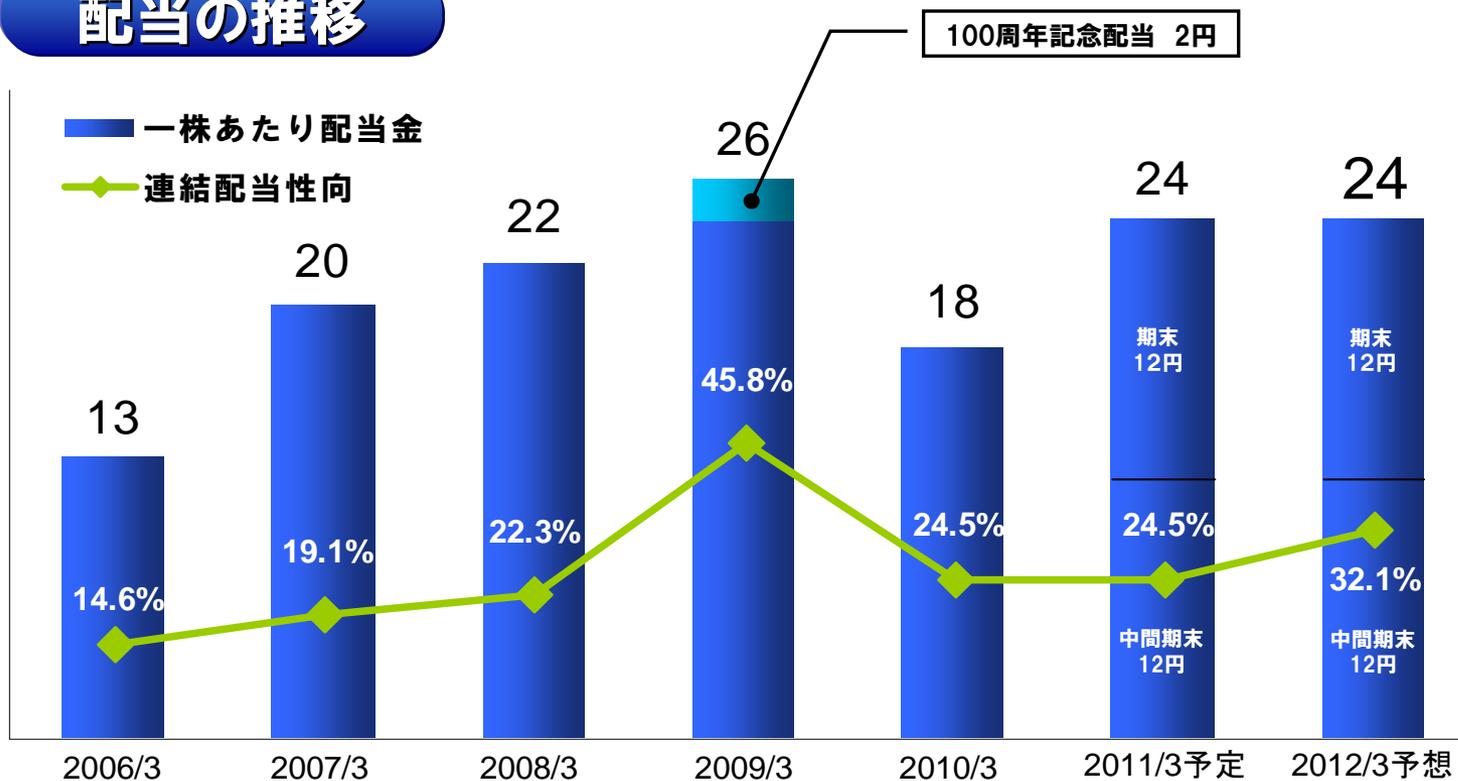
- 自粛ムード、営業時間短縮によるカラオケ利用減少
- カラオケ機器の出荷台数の減少

震災影響への対応

- 投資の抑制と経費の削減
- 効率的なオペレーションの徹底

連結配当性向30%程度とする基本方針に変更なし 今期も安定的な配当を実施

配当の推移



2011年3月期の決算内容と今期の見通し

連結決算概要 <2011年3月期 実績>

単位:億円

	通期実績			
	2011/3 実績	2010/3 実績	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	5,028	4,463	566	12.7% (20.3%)
営業利益	361	266	95	35.5%
営業利益率	7.2%	6.0%	1.2%	
営業外損益	25	30	△ 5	
経常利益	386	297	89	30.2%
特別損益	△ 46	△ 34	△ 11	
法人税他	78	66	12	
当期純利益	262	196	66	33.7%

【参考】第4四半期 3ヶ月間

2011/3 4Q(3ヶ月実績)	2010/3 4Q(3ヶ月実績)	増減額	増減率
			()は為替影響を 除いた増減率
1,267	1,282	△ 15	△ 1.2% (5.3%)
35	70	△ 35	△ 50.1%
2.7%	5.4%	△ 2.7%	
△ 10	△ 3	△ 7	
24	66	△ 42	△ 63.6%
△ 14	△ 11	△ 3	
△ 7	△ 20	14	
17	75	△ 59	△ 77.8%

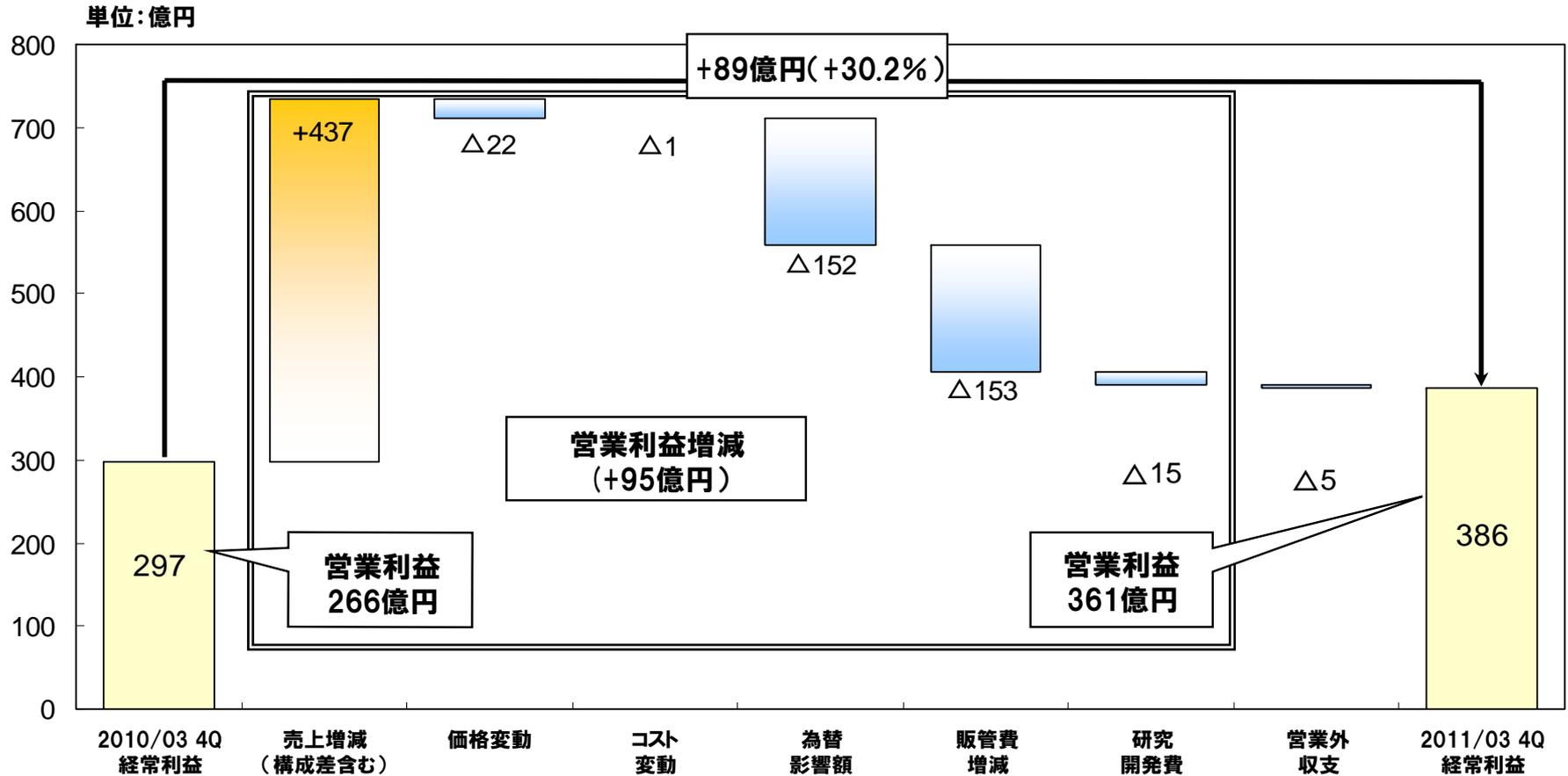
単位:円

換算レート	USD	85.82	93.04	△ 7.22
	EUR	113.56	130.62	△ 17.06

82.12	91.09	△ 8.97
112.31	125.78	△ 13.47

- 売上高は、為替のマイナス影響があるものの、マシナリー事業の市場回復および通信カラオケ事業などで増収
- 利益面では、為替のマイナス影響に加え、原材料価格上昇などによるコストアップの影響があるものの、主にマシナリー事業の増収効果により増益

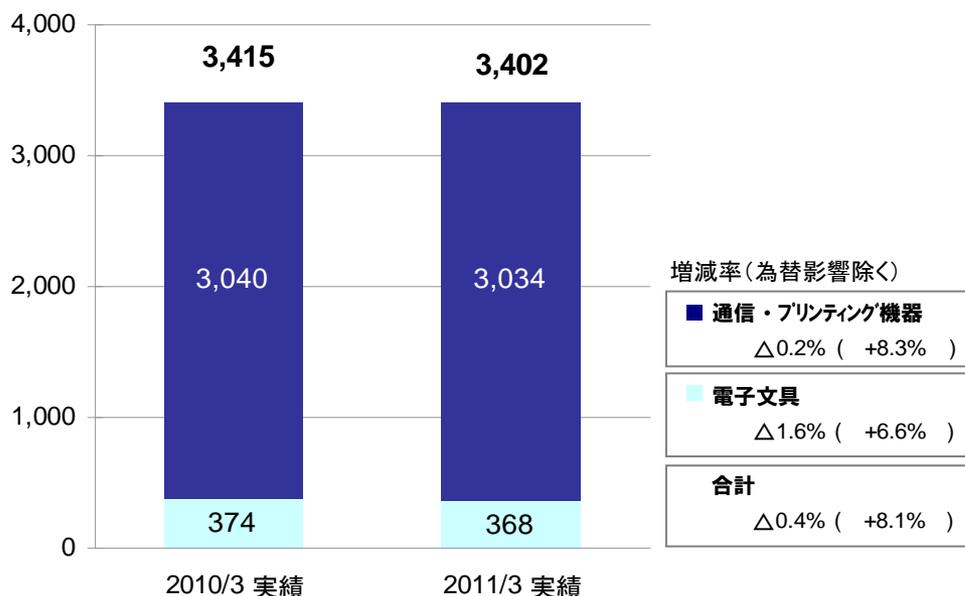
經常利益增減要因 <2011年3月期 実績>



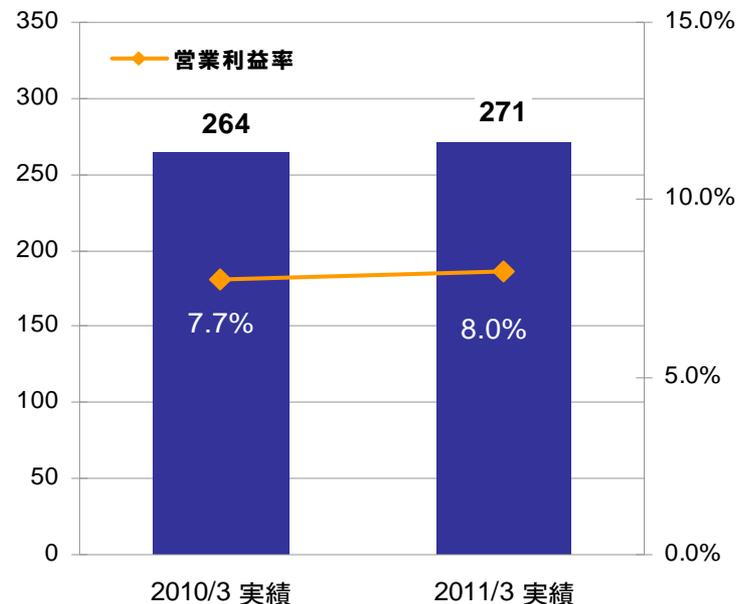
プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益 <2011年3月期 実績>

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳(億円)

	2010/3 実績	2011/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	1,077	1,076	△0.1% (+7.3%)
欧州	1,232	1,142	△7.3% (+6.0%)
アジア他	364	421	+15.4% (+20.0%)
日本	367	395	+7.6% (+7.6%)

電子文具 地域別売上高内訳(億円)

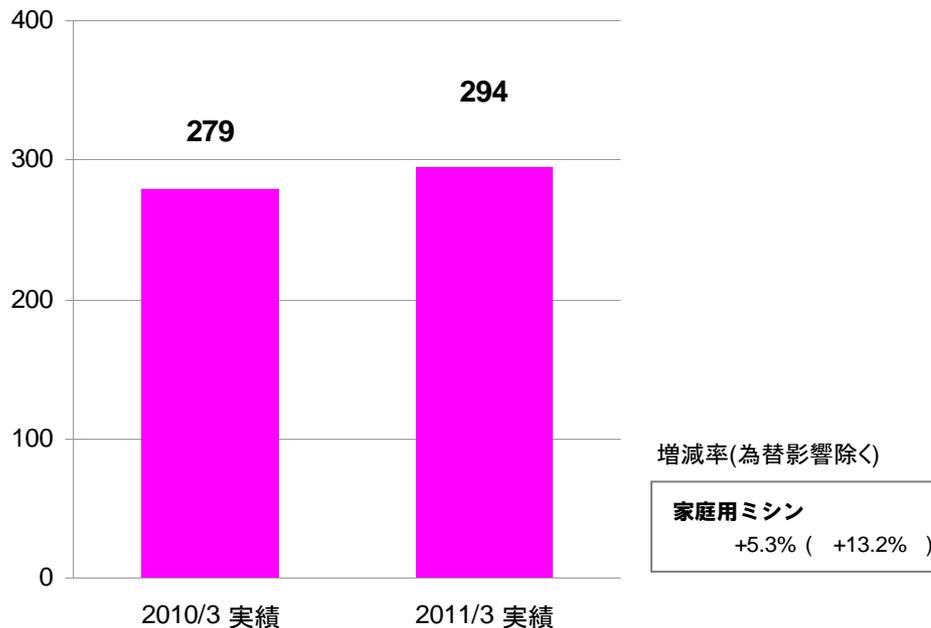
	2010/3 実績	2011/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	189	180	△4.5% (+2.7%)
欧州	120	116	△3.2% (+10.1%)
アジア他	32	39	+20.8% (+25.5%)
日本	34	34	△1.3% (△1.3%)

- 売上高は、全地域で堅調に推移、特にアジア他での伸び率が高い
- 為替のマイナス影響があるものの、主に増収効果により増益

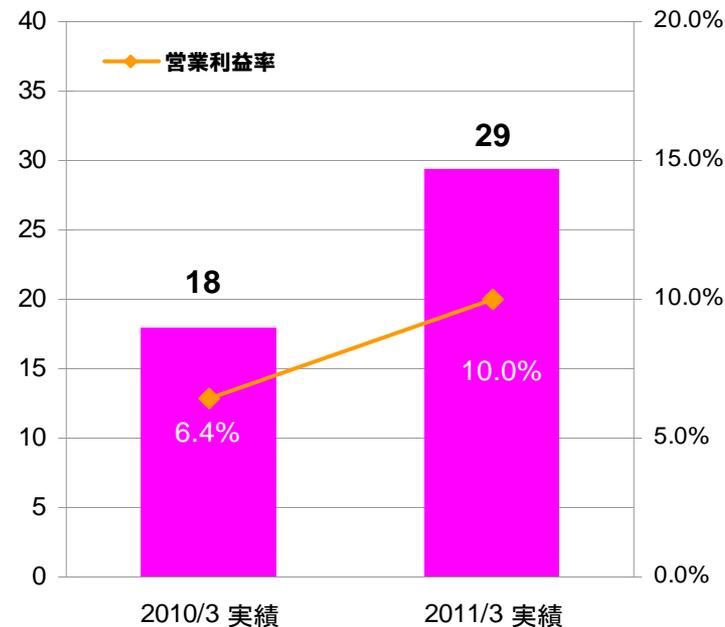
パーソナル&ホーム事業

売上高・営業利益 <2011年3月期 実績>

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



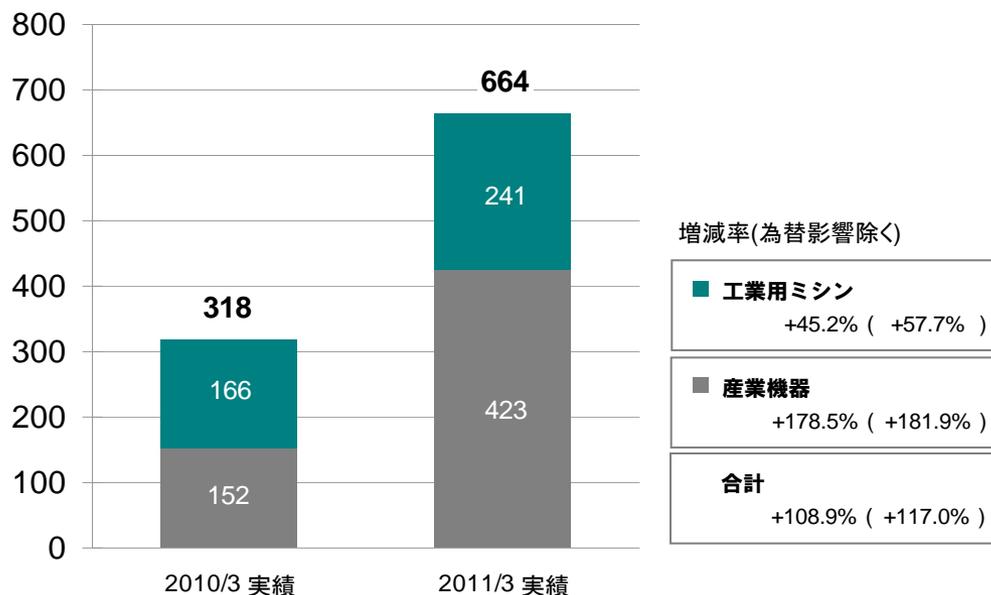
家庭用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2010/3 実績	2011/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	128	138	+7.7% (+15.9%)
欧州	63	66	+4.3% (+21.4%)
アジア他	26	30	+18.4% (+21.3%)
日本	63	60	△3.8% (△3.8%)

- 欧米を中心に好調に推移
- 増収効果および売上構成の改善により増益

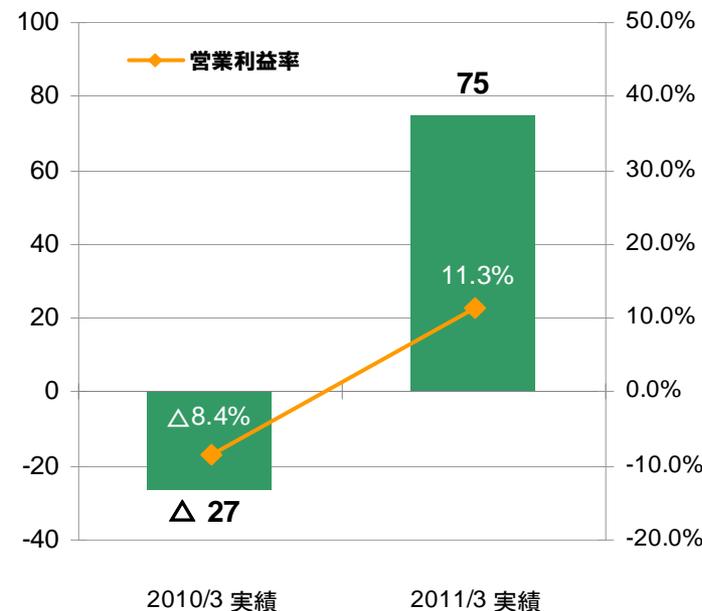
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2010/3 実績	2011/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	29	32	+9.6% (+18.1%)
欧州	19	30	+59.6% (+85.0%)
アジア他	111	172	+55.9% (+68.0%)
日本	7	6	△10.7% (△10.7%)

産業機器

地域別売上高内訳(億円)

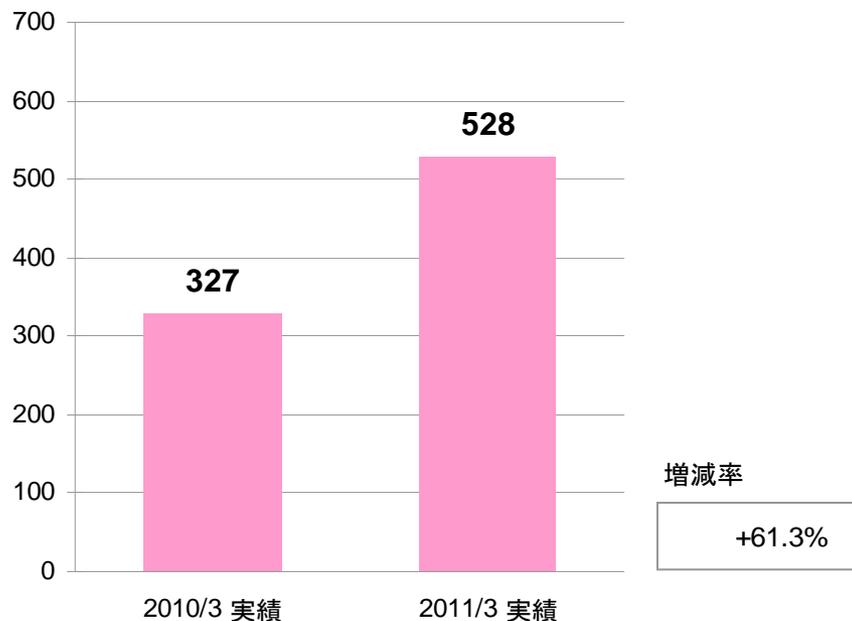
	2010/3 実績	2011/3 実績	増減率
米州	4	12	+244.5%
欧州	2	12	+585.5%
アジア他	129	364	+181.2%
日本	17	35	+101.9%

- 工業用マシン、産業機器とも市場の回復により、売上高は大幅に増加
- 売上高の増加に伴い大幅な増益となり、黒字に転換

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

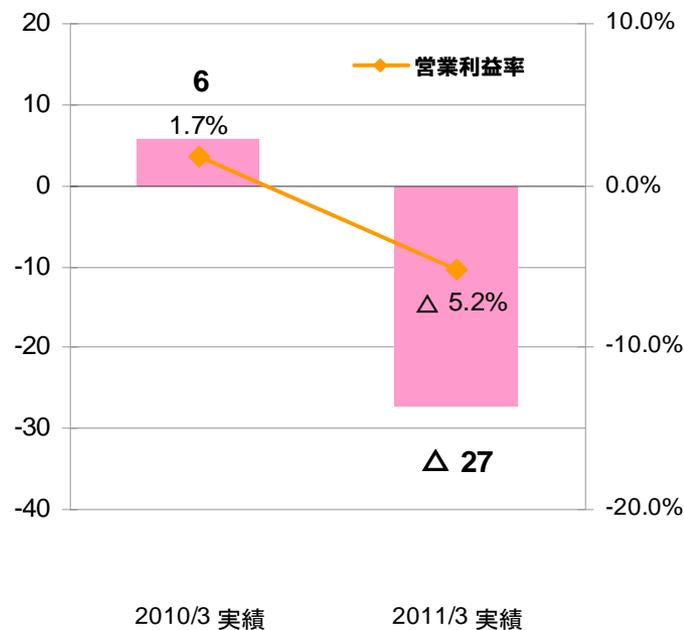
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



- 売上高は、株式会社BMBの株式譲受により大幅に増加
- のれん償却や統合効果の実現の遅れに加え、東日本大震災の影響もあり、大幅減益に

※上記グラフ内の”2010/3 実績”の数値は新しい事業セグメントに組み替えた参考値です。

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

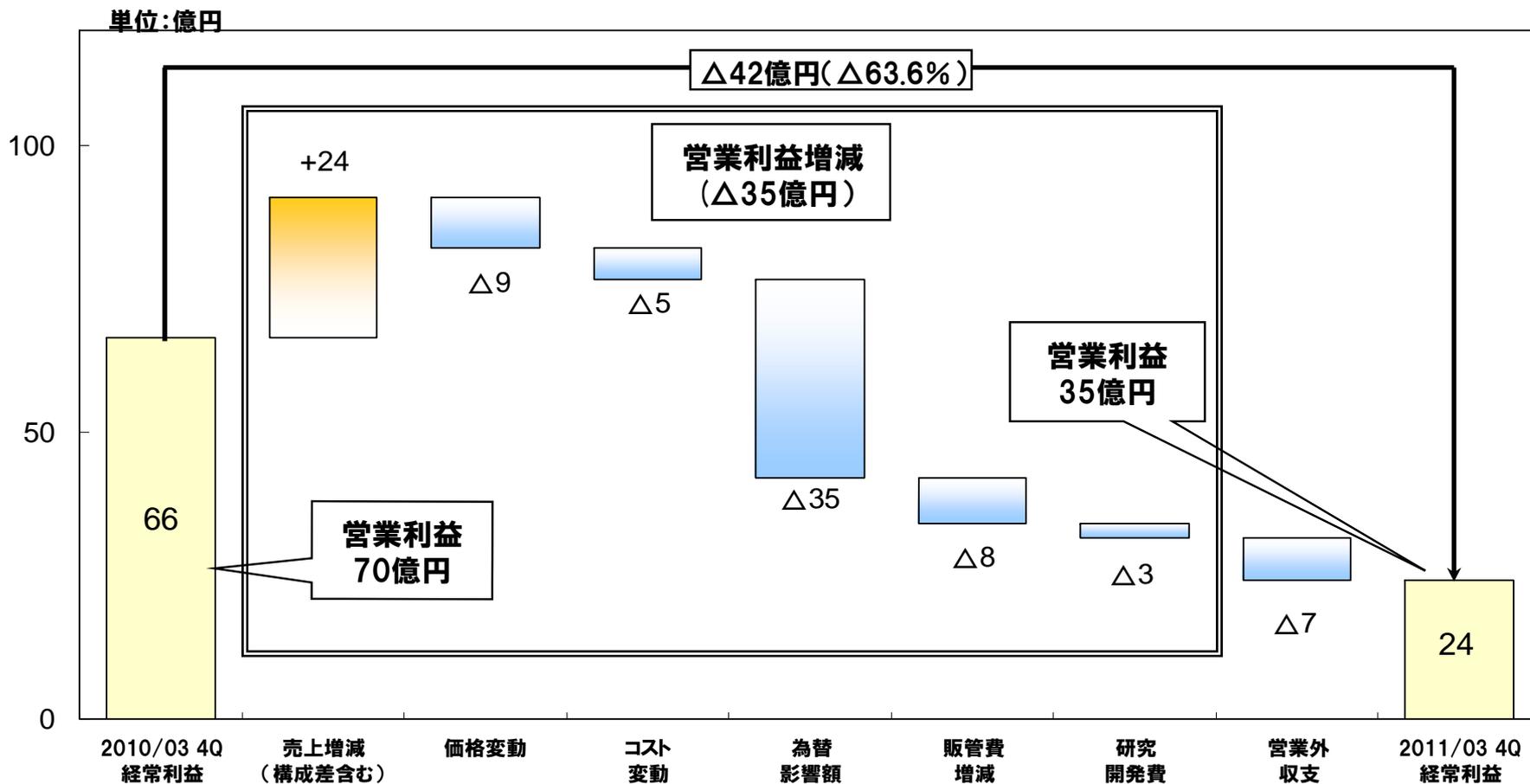
単位:億円

	2012/3 予想	2011/3 実績	増減額	増減率
売上高	5,200	5,028	172	3.4%
営業利益	340	361	△ 21	△5.8%
営業利益率	6.5%	7.2%	△0.6%	
営業外損益	0	25	△ 25	
経常利益	340	386	△ 46	△11.9%
特別損益	0	△ 46	46	
法人税他	140	78	62	
当期純利益	200	262	△ 62	△23.8%

単位:円

換算レート	USD	85.00	85.82	△ 0.82
	EUR	115.00	113.56	1.44

- 売上高は、東日本大震災による影響があるものの、現時点の見通しでは、全体で増収となる見通し
 - 営業利益は、増収効果はあるものの、震災影響により、減益となる見通し
 - 営業外利益が減少する一方、特別損失は減少する中、税効果会計の影響により法人税等負担率が前年と比較して増加するため、純利益は減益となる見通し
- ※ 震災により、生産面および販売面において、不透明な要因が存在するため、事業セグメント及び所在地別の業績予想は開示いたしません

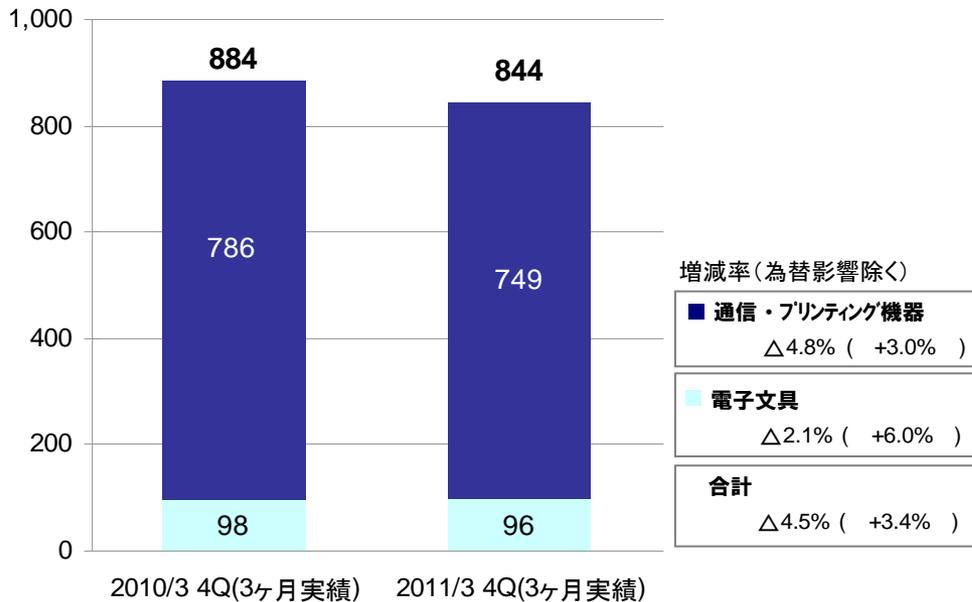


【参考】プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益 <2011年3月期 4Q(1-3月実績)>

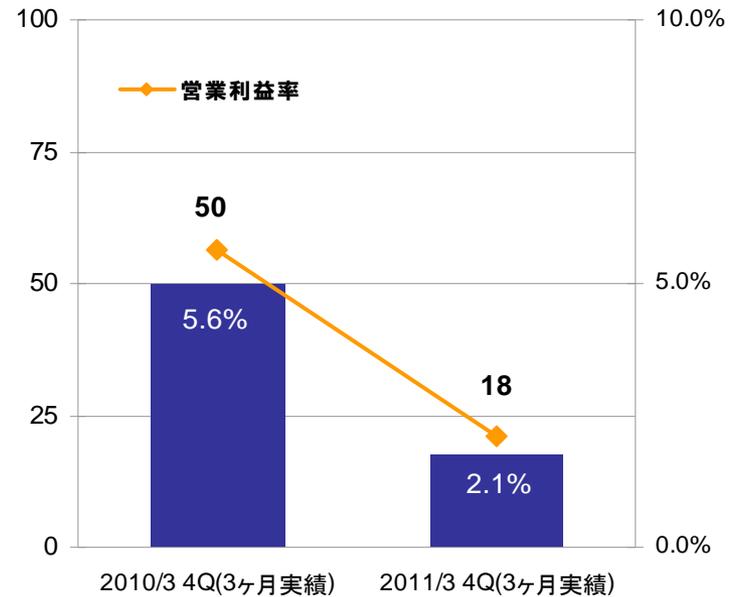
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳(億円)

	2010/3 4Q(3ヶ月実績)	2011/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	280	253	△ 9.9% (△1.1%)
欧州	326	302	△ 7.3% (+2.5%)
アジア他	90	105	+16.7% (+22.4%)
日本	90	88	△ 1.7% (△1.7%)

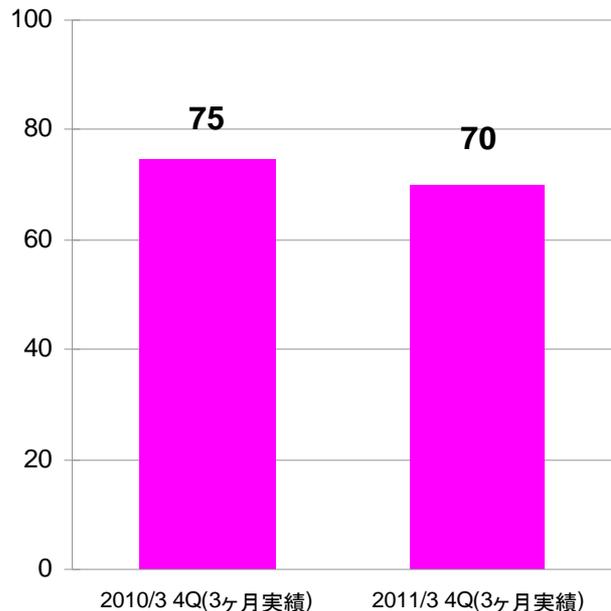
電子文具

地域別売上高内訳(億円)

	2010/3 4Q(3ヶ月実績)	2011/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	47	43	△8.0% (+1.1%)
欧州	31	32	+4.0% (+14.3%)
アジア他	8	10	+25.1% (+30.2%)
日本	12	10	△13.0% (△13.0%)

売上高

(億円)



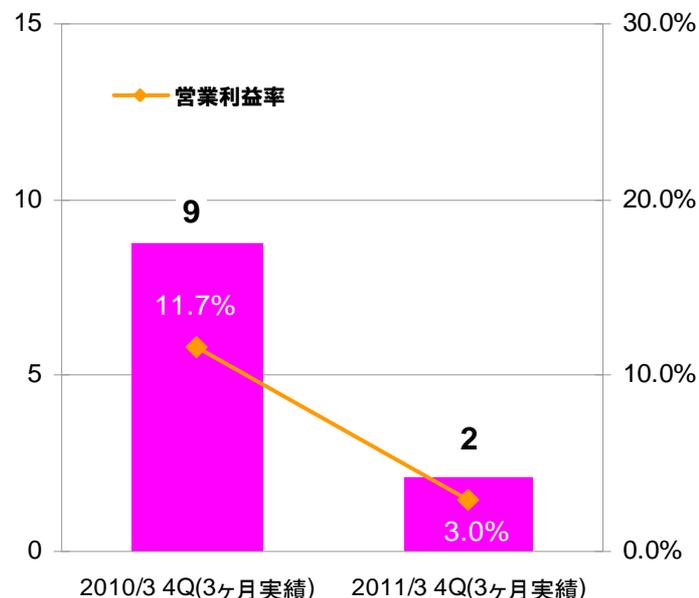
増減率(為替影響除く)

家庭用ミシン

△6.1% (+0.5%)

営業利益

(億円)



家庭用ミシン

地域別売上高内訳 (億円)

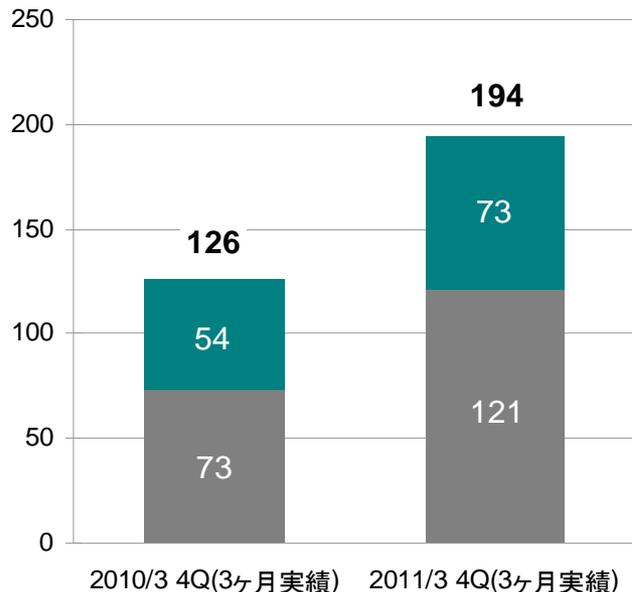
	2010/3 4Q(3ヶ月実績)	2011/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	32	28	△9.9% (△1.1%)
欧州	17	16	△6.1% (+5.2%)
アジア他	6	7	+19.4% (+23.4%)
日本	20	19	△7.7% (△7.7%)

【参考】マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2011年3月期 4Q(1-3月実績)>

売上高

(億円)

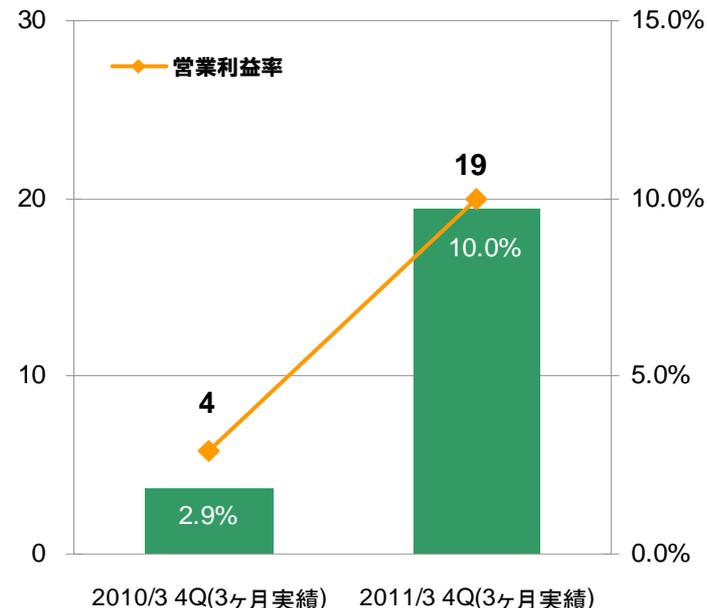


増減率(為替影響除く)

■ 工業用マシン	+36.7% (+48.9%)
■ 産業機器	+66.5% (+68.7%)
合計	+53.9% (+60.3%)

営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2010/3 4Q(3ヶ月実績)	2011/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	7	7	+7.4% (+17.9%)
欧州	5	9	+69.3% (+89.6%)
アジア他	39	55	+40.0% (+51.8%)
日本	2	1	△20.3% (△20.3%)

産業機器

地域別売上高内訳(億円)

	2010/3 4Q(3ヶ月実績)	2011/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率
米州	1	4	+211.5%
欧州	0	3	+515.5%
アジア他	65	105	+61.9%
日本	6	10	+52.9%

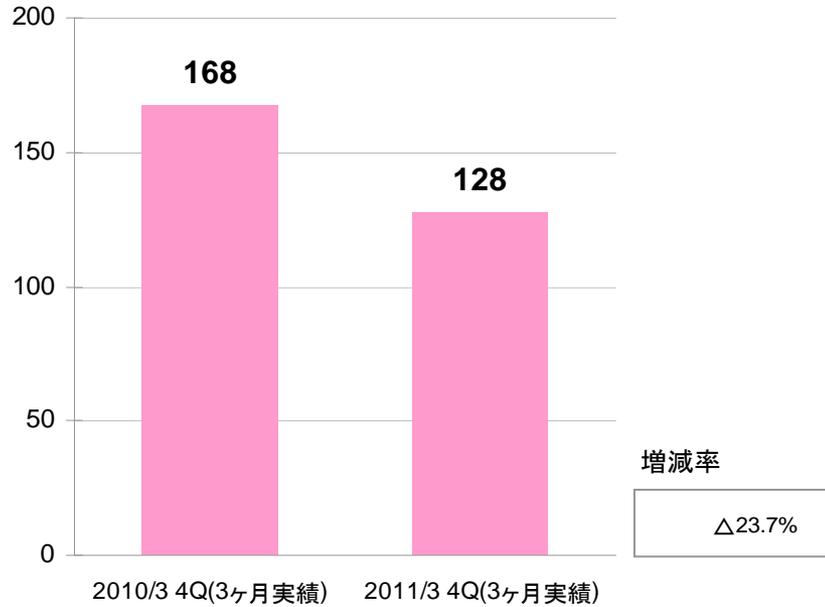
※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

【参考】ネットワーク&コンテンツ事業

売上高・営業利益 <2011年3月期 4Q(1-3月実績)>

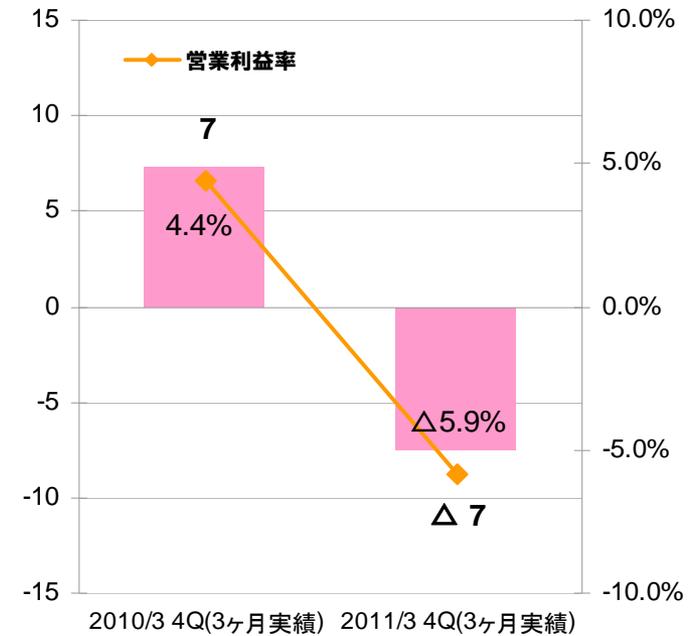
売上高

(億円)



営業利益

(億円)

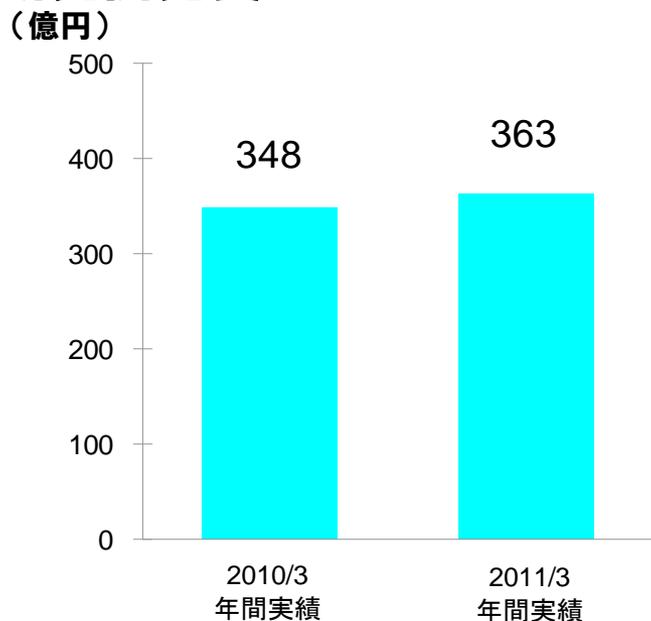


※上記グラフ内の”2010/3 4Q(3ヶ月実績)”の数値は新しい事業セグメントに組み替えた参考値です。

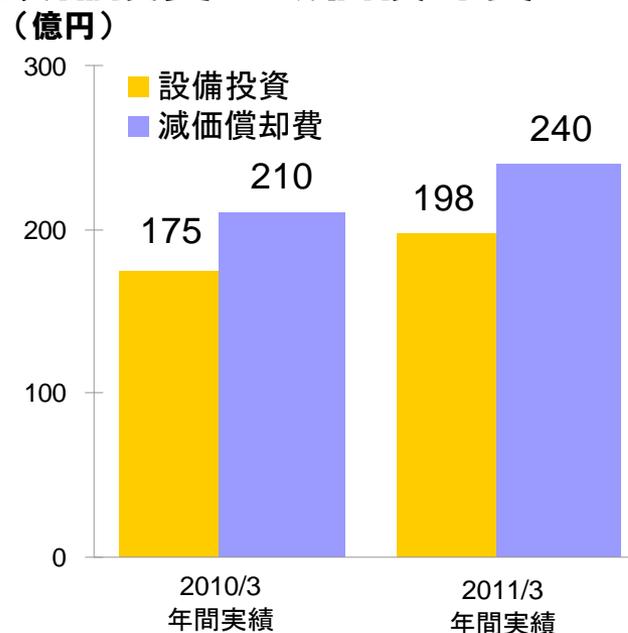
※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

【参考】研究開発費・設備投資・減価償却費・ 棚卸資産

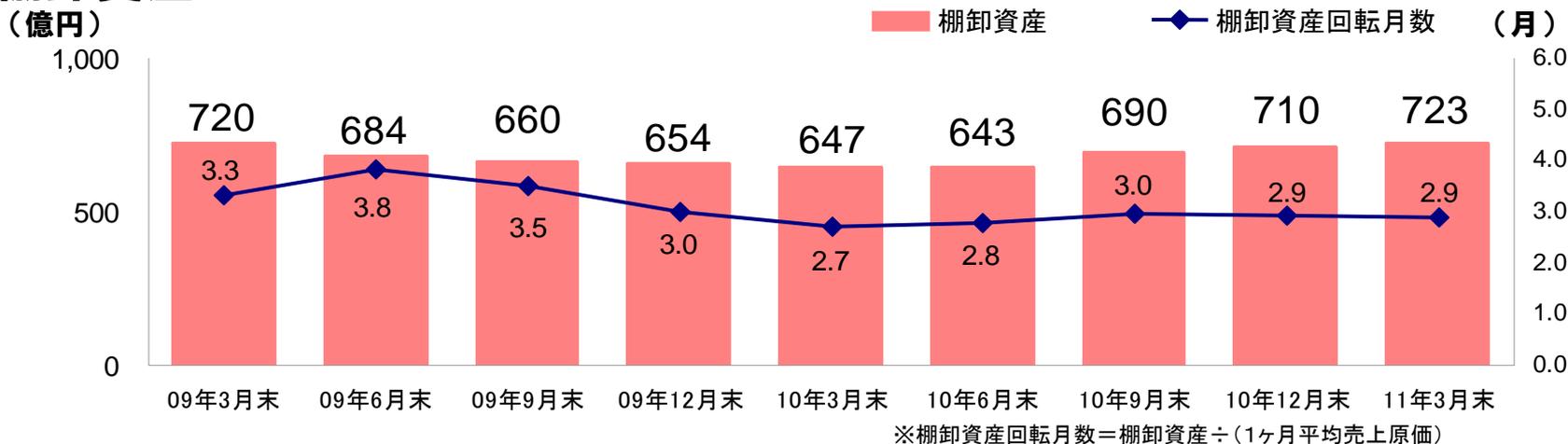
研究開発費



設備投資・減価償却費



棚卸資産



brother
at your side